

請願第5号

「向日市独自の老人医療助成制度を求める」請願

紹介議員
北 林 重 男

「向日市独自の老人医療助成制度を求める」請願

請願の要旨

老人医療助成制度（65歳から69歳）の窓口負担を2割から1割に戻す向日市独自の制度を作っていただくこと。

請願理由

老人医療助成制度（マル老）は、京都府と市町村が共同で65歳から69歳の方の医療費の窓口負担を3割から1割に軽減する制度です。この制度は昭和45年（1970）年から実施されてきました。京都府は、国の制度見直し（70歳～74歳を1割から2割負担へ引き上げ）を理由に今年4月から2割負担に引き上げられました。

ご存知のように国は、2013年10月～2015年4月にわたって3回、2・5%の年金を引き下げました。今年からマクロ経済スライド制を実施しようとしています。この制度は物価が上がってもスライドして年金が上がらない制度です。

高齢者は必然的に病気になることが増え、医療費が老後の生活を圧迫します。国は制度の継続を盾に自己負担を増やしてきましたが、高齢化社会を迎える時こそ国費（税金）を医療費に使うべきと考えます。

このような状況の下、向日市独自に老人医療助成制度として、65歳から69歳の方の窓口負担を1割に戻す制度を作っていただくことをお願いいたします。

平成27年5月25日

向日市議会議長

辻山 久和 様